

めぶきフィナンシャルグループ 個人投資家さま向け会社説明会



MEBUKI

めぶきフィナンシャルグループ

2022年2月

(東証第1部 7167)

質の高い総合金融サービスの提供を通じ、
地域とともに、ゆたかな未来を創り続けます。

グループの創意を結集し、地域の持続的成長に貢献します。

質の高い総合金融サービスの提供により、

地域社会の課題解決を図り、

地域とともにゆたかな未来を創造します。



目次

1 めぶきフィナンシャルグループについて

- ・会社概要／グループ体制 4
- ・めぶきFGの歩み 5
- ・茨城県・栃木県の市場環境／規模 6
- ・営業地盤・シェア 7
- ・めぶきFGの強み 8
- ・海外拠点網の充実／海外展開支援の強化 9
- ・財務ハイライト(利益水準の推移) 10
- ・財務ハイライト(効率性・安全性の推移) 11
- ・財務ハイライト(預金・貸出金の推移) 12

2 第2次グループ中期経営計画

- ・第2次グループ中期経営計画 14
- ・地域とともに成長するビジネスモデルの構築 15-25
- ・生産性向上に向けた構造改革 26-27
- ・価値創造を担う人材の育成 28-29

3 SDGs

- ・金融・コンサルティング機能を通して地域経済の好循環につなげ、地域経済の活性化に貢献する 31
- ・TCFDへの賛同を踏まえ、気候変動・環境保全に取り組みを進展させる 32
- ・ダイバーシティへの取り組みを進展させる 33

4 業績・株主還元

- ・2021年度中間期 業績ハイライト 35
- ・配当・還元方針 36
- ・株主優待 37
- ・めぶきFG株価推移 38
- ・(参考)経済指標 39

5 資料編

- ・2021年度中間期 決算概要 41
- ・2021年度業績予想 42
- ・(参考)ホームページのご案内 43

1 めぶきFGについて

2 第2次グループ中計

3 SDGs

4 業績・株主還元

5 資料編

めぶきFGについて

会社概要

上場	東証1部 (証券コード:7167)
従業員数 ('21年9月末)	6,416名 (外、平均臨時従業員数 3,352名)
総資産 ('21年9月末)	23兆 1,693億円
預金残高 ('21年9月末)	16兆 1,700億円
貸出金残高 ('21年9月末)	11兆 5,378億円
自己資本比率 ('21年9月末)	11.01 %
時価総額 ('21年9月末)	2,900億円
格付 ('21年9月末)	めぶきFG A (R&I) 常陽銀行 A+ (R&I)、 A3 (ムーディーズ) 足利銀行 A+ (R&I)
主要インデックスへの採用状況	JPX400 日経株価指数300 日経500種平均株価 TOPIX

グループ体制

('21年9月現在)



常陽コンピューターサービス(株)
常陽信用保証(株)
(株)常陽産業研究所 常陽施設管理(株)
(株)常陽キャピタルパートナーズ



(株)あしぎん総合研究所
(株)ウイング・キャピタル・パートナーズ
(株)あしぎんマネーデザイン



めぶきFGについて

めぶきFGの歩み

常陽銀行、足利銀行は、長年にわたりお客さまとのリレーションを築き、地域への深い理解を有する。地域の創生・課題解決に貢献するには両行の協働が最適との認識に至り、2016年に経営統合。

常陽銀行の歴史



1935年
常磐銀行と五十銀行の
合併により常陽銀行が設立

足利銀行の歴史



1895年
栃木県足利郡足利町にて設立

めぶきFGの歴史

設立 87周年

設立127周年



2016年10月
めぶきフィナンシャルグループ発足

2017年
4月 めぶきリースを直接出資子会社化
10月 めぶき証券を直接出資子会社化

2020年
1月 常陽銀行、足利銀行のシステムを統合
10月 めぶき信用保証を直接出資子会社化

2021年
4月 めぶきカードを直接出資子会社化

めぶきFGについて

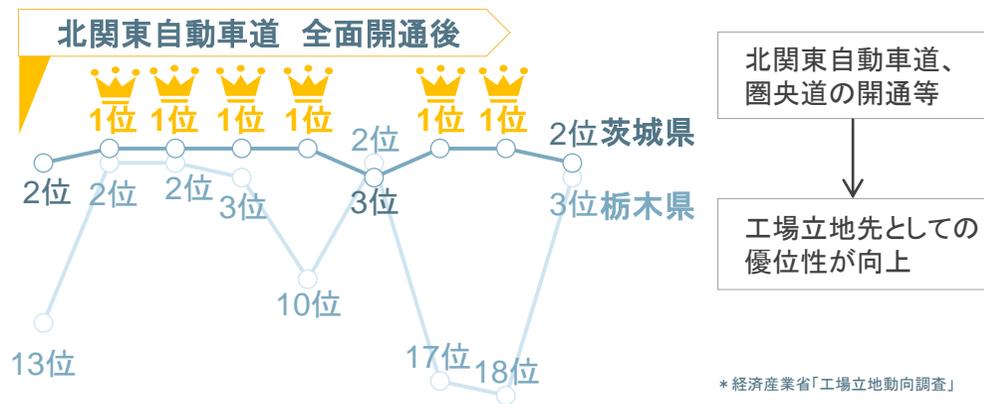
茨城県・栃木県の市場環境／規模

当社グループのマザーマーケットは首都圏に隣接し、全国有数の工場立地地域。高速道路や鉄道網、港湾、空港の整備も進展し、成長ポテンシャルは高い。

高速道路の連結により、広域ネットワークを形成



工場立地敷地面積



'12年'13年'14年'15年'16年'17年'18年'19年'20年

経済指標

	茨城県	栃木県
人口※1	287万人 11位	194万人 19位
GDP 名目県内総生産※1	14.0兆円 11位	9.3兆円 15位
一人当たり県民所得※1	332万円 6位	347万円 3位
事業所数※2	11.8万事業所 13位	8.8万事業所 19位
製造品出荷額等※3	12.5兆円 7位	8.9兆円 13位
農業産出額※4	4,302億円 3位	2,859億円 9位

※1 内閣府「県民経済計算」
 ※3 茨城県・栃木県「工業統計調査」

※2 総務省統計局「平成28年経済センサス基礎調査」
 ※4 農林水産省「令和元年生産農業所得統計」

めぶきFGについて

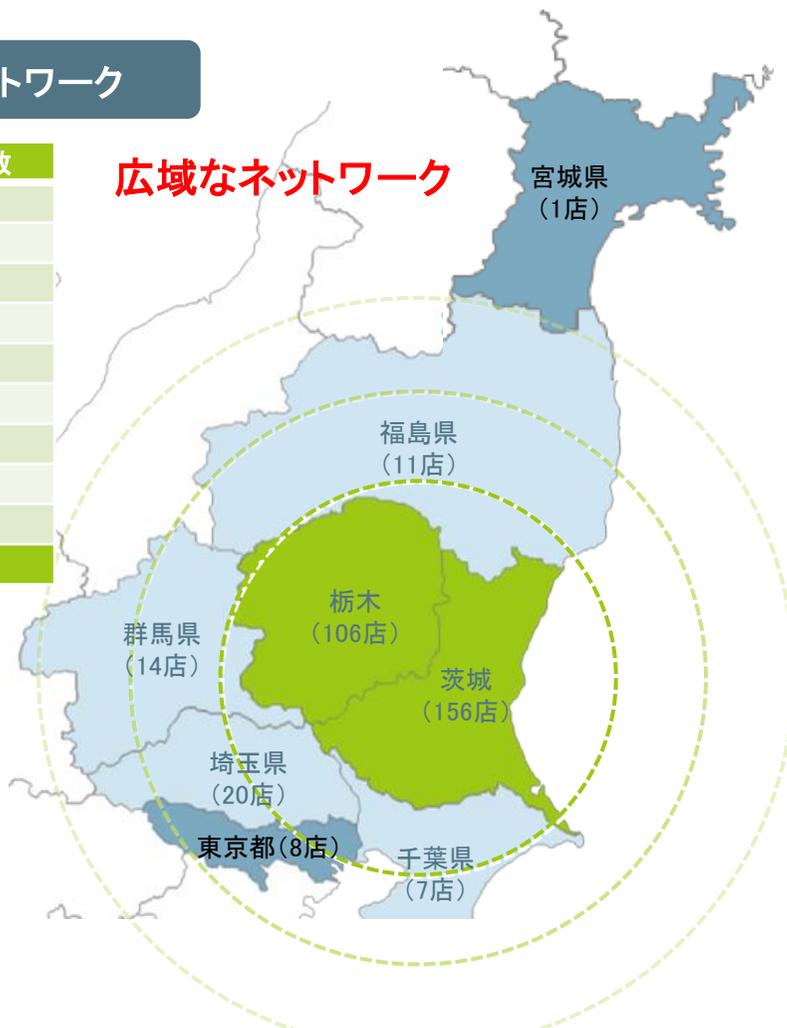
営業地盤・シェア

ポテンシャルの高いマザーマーケットにおける広域なネットワークと強固な営業基盤

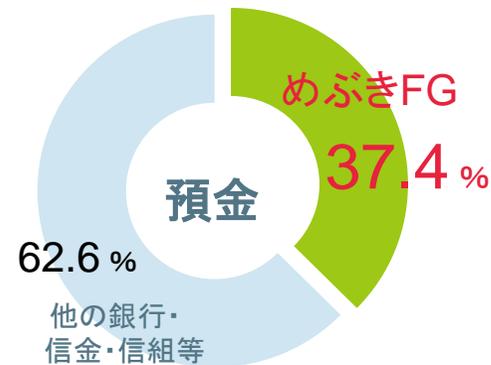
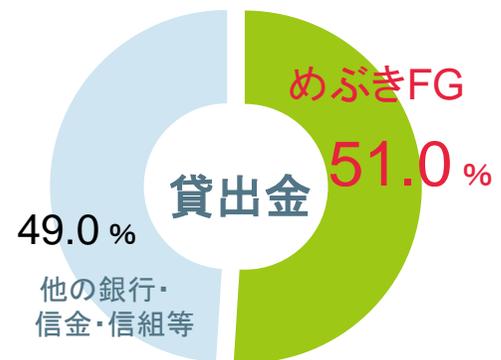
国内店舗ネットワーク

所在地	店舗数
茨城県	156
栃木県	106
埼玉県	20
群馬県	14
福島県	11
東京都	8
千葉	7
宮城	1
大阪	1
国内合計	324

広域なネットワーク



茨城県・栃木県のシェア ※



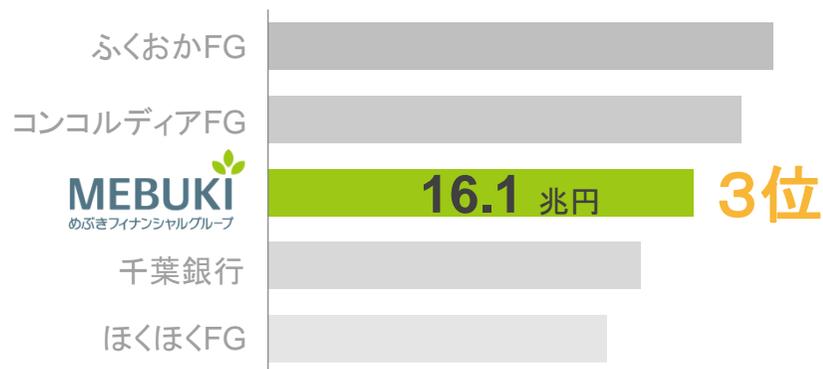
※ シェアは金融ジャーナル2021.12増刊号のデータをもとに当社が算出 7

めぶきFGについて

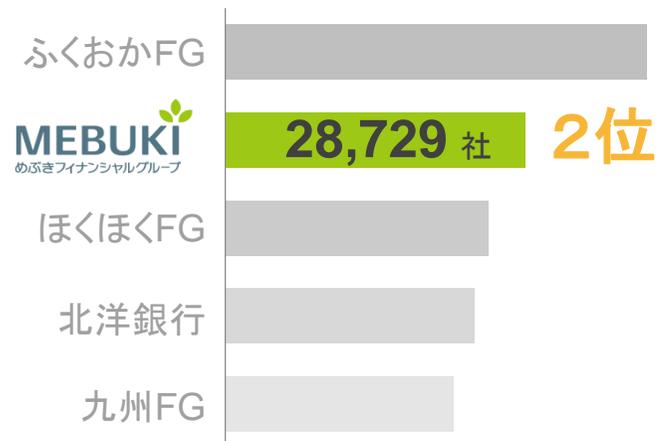
めぶきFGの強み

広域なネットワークと強固な営業基盤を背景に、資産規模・メインバンク先数は地方銀行業界トップクラス

預金残高（'21年9月末現在）



メインバンク先数（'21年10月末現在）



貸出金残高（'21年9月末現在）



(株)帝国データバンク『全国企業「メインバンク」動向調査(2021年)』より、
地方銀行・グループで当社作成

めぶきFGについて

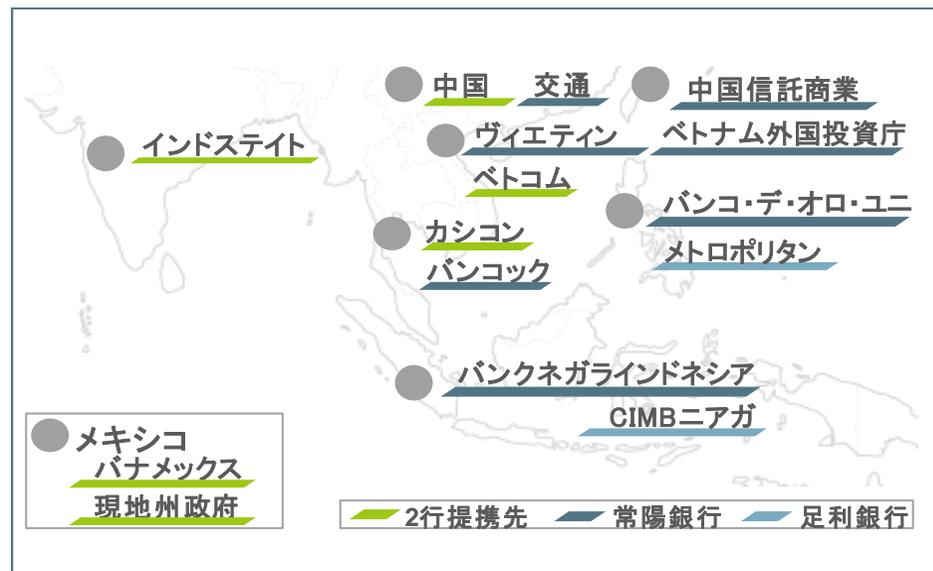
海外拠点網の充実／海外展開支援の強化

(’21年12月末現在)

海外拠点(駐在員事務所)



現地金融機関との提携



【海外進出支援件数(件)】



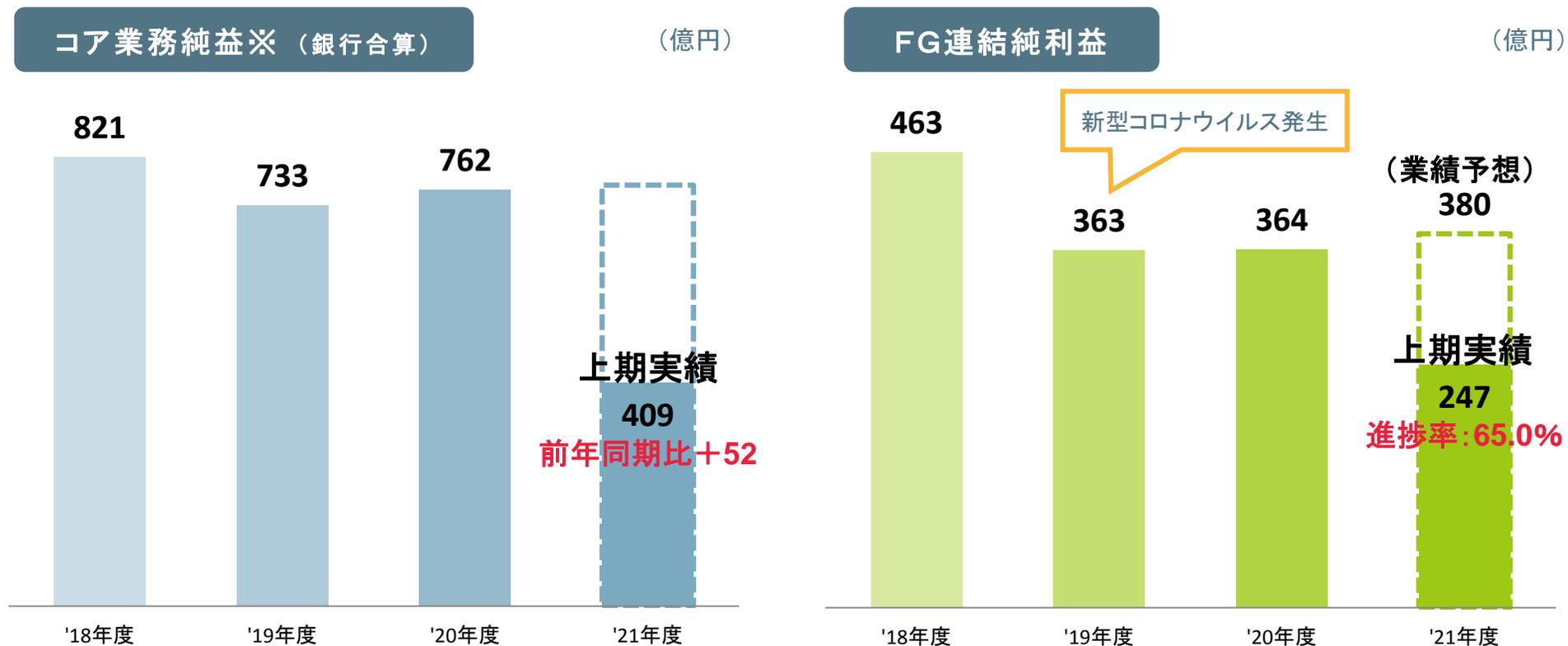
【取引先の海外進出状況】

進出先	企業数
中国	531
タイ	271
欧州	231
ベトナム	222
北米	162
シンガポール	154
インドネシア	128
その他	677
合計	2,376

財務ハイライト（利益水準の推移）

コンサルティング機能の強化と経費削減等により、コロナ禍においても本業の収益力（コア業務純益）が向上。

これにより、2021年度の連結純利益も前年比増益を見込む。



※ コア業務純益 = 業務粗利益 - 経費 - 国債等債券損益

めぶきFGについて

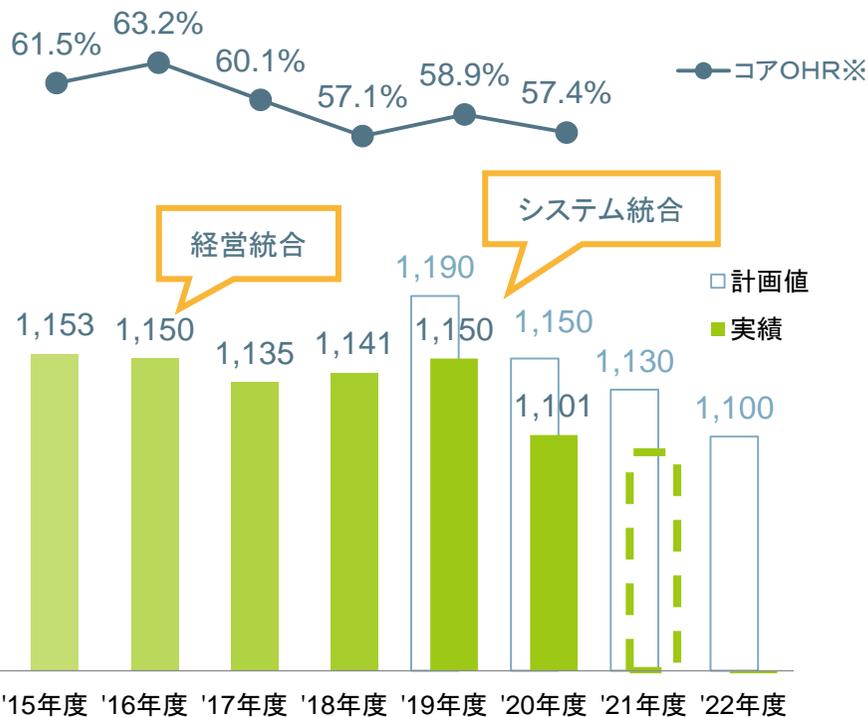
財務ハイライト（効率性・安全性の推移）

経営統合による効率化は着実に進展し、経費削減は計画を上回るスピードで進展。

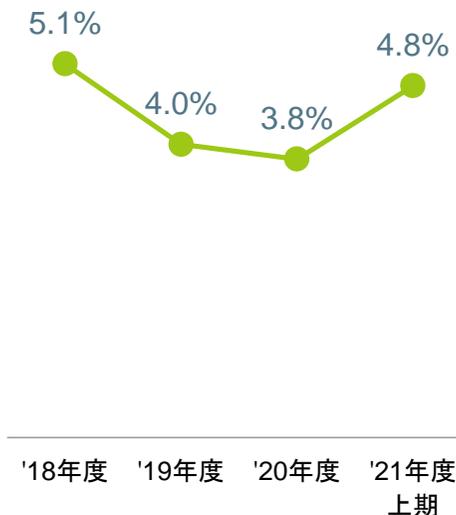
コロナ禍の影響を受け低下したROEは、収益力の改善により反転。

自己資本比率は最低所要水準である4%を大きく上回り、11%台まで上昇。

経費・OHR（銀行合算）



ROE（連結）



自己資本比率（連結）



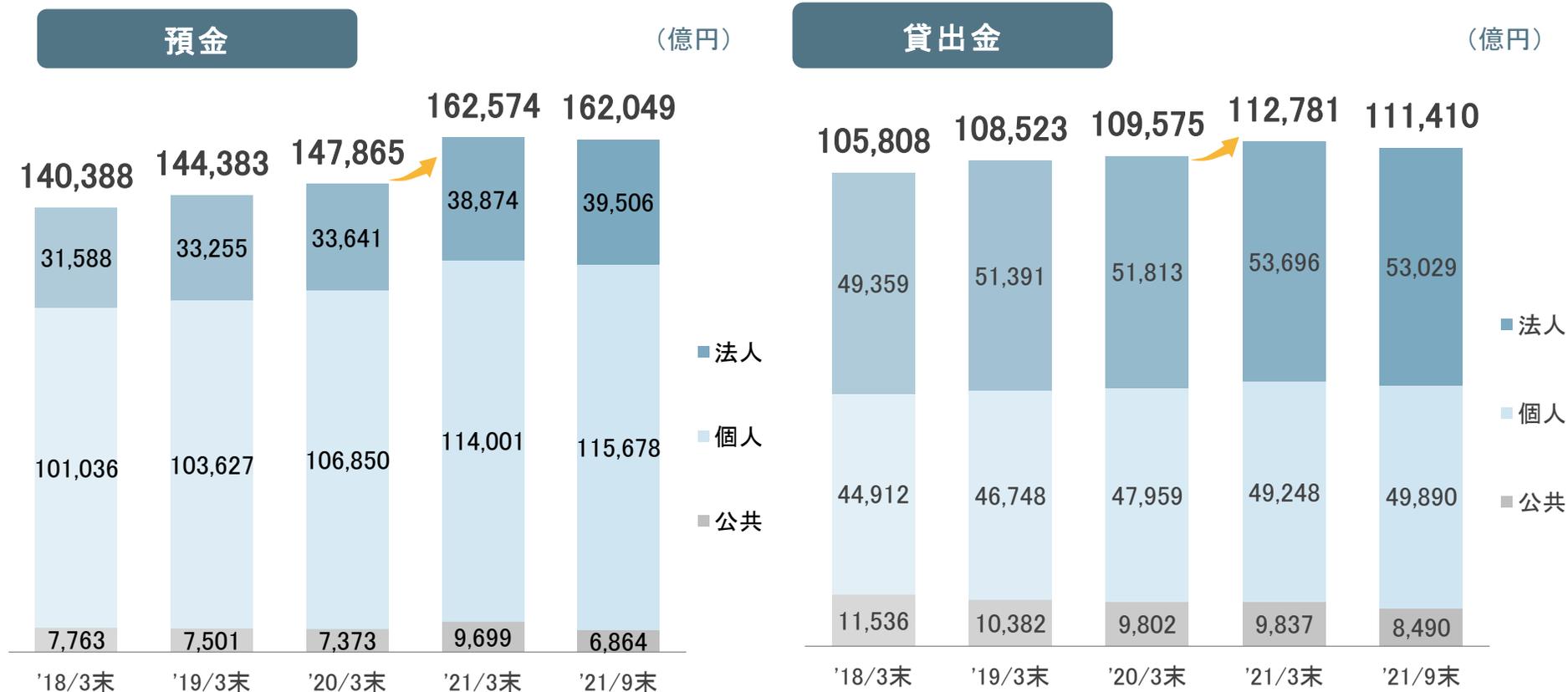
※コアOHR=経費(システム統合費用を除く)/コア業務粗利益(業務粗利益-国債等債券損益)

めぶきFGについて

財務ハイライト（預金・貸出金の推移）

預金・貸出金は、総じて増加基調が継続。

2021年3月末にかけて、コロナ禍における各種給付金や補助金の流入、およびお客さまの資金繰り支援の注力により、法人・個人ともに預金・貸出金が大きく増加。



① めぶきFGについて

② 第2次グループ中計

③ SDGs

④ 業績・株主還元

⑤ 資料編

第2次グループ中期経営計画

2020年1月の基幹システムの統合を契機に、業務プロセス・組織体制を中心とした構造改革を進め、経営資源を捻出。

捻出した経営資源は、当社グループの強みを生かし、コンサルティング営業やIT分野へと投入。

目指す姿

地域の未来を創造する総合金融サービスグループ

位置付け

本格的な成果の実現・次なる成長への転換期間

計画期間

3年間(2019年4月～2022年3月)

基本戦略

(1) 地域とともに成長するビジネスモデルの構築

- コンサルティング機能の強化
 - 本業支援強化
 - 資産形成支援
- ITサービスの利活用・IT投資強化
 - 利便性向上・BPR
 - デジタル化支援
 - キャッシュレス対応

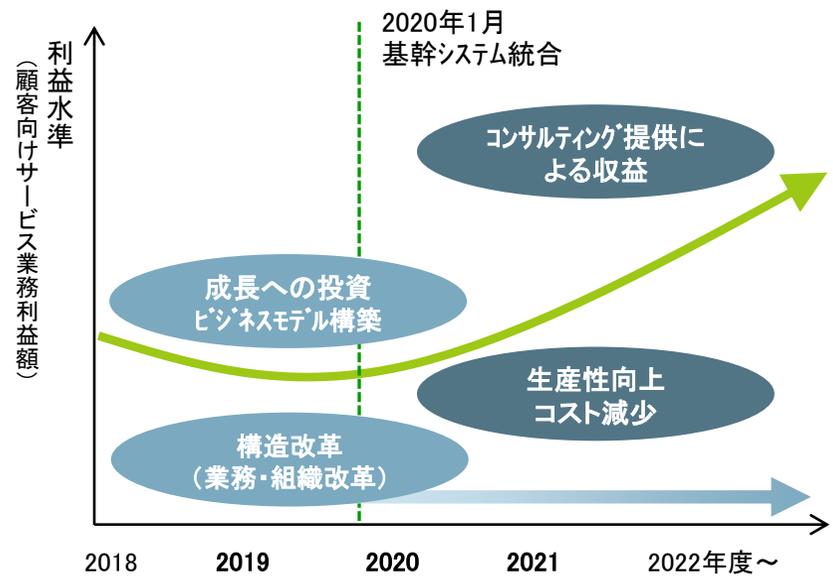
(2) 生産性向上に向けた構造改革

- 生産性の高い経営基盤構築
 - 基幹システム統合
 - 事務フロー統一
 - 店舗ネットワーク見直し
- グループ経営・ガバナンスの高度化
 - 本部、子会社の集約
 - コーポレートガバナンス強化

(3) 価値創造を担う人材の育成

- 専門人材の育成
- 人事・研修制度の拡充 / 働き方改革・ダイバーシティ推進

第2次グループ中計の位置付け



第2次グループ中期経営計画

地域とともに成長するビジネスモデルの構築

～コンサルティング機能の強化～

少子高齢化の進行やデジタル化の進展、コロナ禍等の影響により顕在化する課題やお悩みごとを解決するため、コンサルティング機能の強化に取り組む。

経営課題 (法人のお客さま)

- 資金繰り
- 主力製品の売上減少
- サプライチェーンの見直し
- 事業承継
- 生産性向上
- 人手不足
- 事業拡大
- SDGsへの対応



お悩みごと・心配ごと (個人のお客さま)

- 資産形成
- 相続対策
- ローン
- 高齢社会への備え
- 「住まい」に関する問題
- 介護不安
- 健康不安

第2次グループ中期経営計画

地域とともに成長するビジネスモデルの構築

～コンサルティング機能の強化～



本業支援

- 新事業創出、新商品開発、販路拡大支援
 - ✓ Webを活用した商談会、ビジネスマッチング
 - ✓ 販路拡大、仕入れ先の紹介
 - ✓ めぶきビジネスアワード開催
- 事業承継、M&A支援
 - ✓ ネットワークを生かした事業承継・M&A支援
- SDGs取組支援
 - ✓ セミナー開催、SDGs取組宣言支援サービス
 - ✓ ESGファイナンス(サステナビリティリンクローン、グリーンボンドなど)

資金繰り、主力製品の売上減少

サプライチェーンの見直し

事業承継

SDGsへの対応



課題
解決

【ビジネスマッチング件数(累計・件)】



【M&A相談件数(件)】



ものづくり企業展示商談会

第2次グループ中期経営計画

地域とともに成長するビジネスモデルの構築 ～コンサルティング機能の強化～

第5回めぶきビジネスアワード

- 地域産業の掘り起こしと新事業創出を支援
 - ✓ 地域の革新的・創造的な事業プランを募集・表彰する「めぶきビジネスアワード」を開催(応募総数:394件)。受賞プランの事業化へ向け、技術提案や販売拡大支援に加え、ファンドを活用した金融面での支援などを実施。



めぶきビジネスアワード

各種商談会・セミナー

- めぶきFG ものづくり企業フォーラム 2021 オンライン技術商談会
 - ✓ オンライン上に技術提案ページを作成、自社の技術・製品を画像・動画によりPR。
 - ✓ 開催日:2021年9月13日～2021年10月12日、オンライン出展企業数:140社
- めぶき食の商談会 オンライン商談会
 - ✓ 商談会をオンライン化。PC,スマホ上で商品展示・商談を行う仕組みを構築。
 - ✓ 開催日:2021年中旬～、オンライン出展企業数:97社、商談件数:805件
- 補助金活用オンラインセミナー(めぶきFG共催)
 - ✓ 事業再構築補助金等の各種補助金の申請のポイントをオンラインで解説。
 - ✓ 開催日:2021年2月17日、参加企業数:350社
- 個別企業のニーズに基づく一括商談会(めぶきFG共催)
 - ✓ 仕入企業・発注企業からのニーズに合わせ、納入企業・受注企業をマッチングする一括商談会を随時開催。



めぶきFG ものづくり企業フォーラム2021
オンライン技術商談会

第2次グループ中期経営計画

地域とともに成長するビジネスモデルの構築

～コンサルティング機能の強化～



人材確保支援

- 人材紹介
 - ✓ 銀行やグループ会社、業務提携先を通じ企業の需要に応じた人材をマッチング
 - ✓ 企業それぞれの課題に応じたサポート
- 副業人材紹介
 - ✓ 低コストかつ効率的な副業人材活用を支援 など

<その他の人材関連サービス>

人材派遣、再就職支援、高度人材の短期利用、
新卒採用支援、WEBプロモーション支援 など

人手不足

事業拡大

事業承継



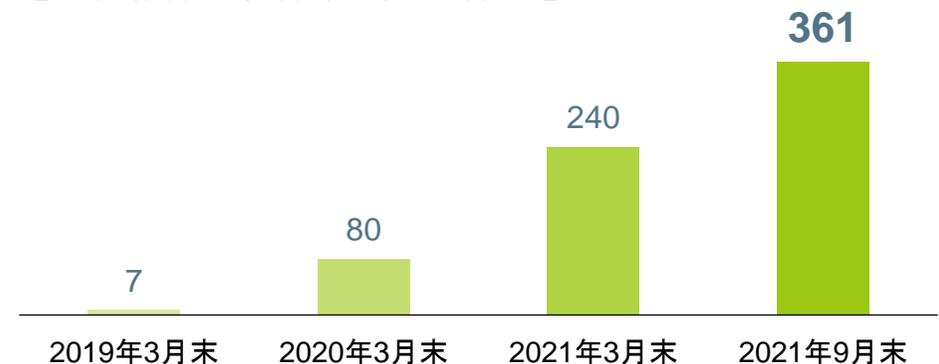
課題
解決

【人材関連ニーズの情報収集(累計・件)※】



※ 2019年3月末実績は、常陽銀行のみ計上。

【人材紹介成約件数(累計・件)※】



※ 2019年3月末実績は、常陽銀行のみ計上。

第2次グループ中期経営計画

地域とともに成長するビジネスモデルの構築

～コンサルティング機能の強化～



デジタル化支援

取引先のデジタル化支援

- ✓ NPO法人ITコーディネーター協会とオンラインセミナー共催
- ✓ セミナー参加者への無料コンサルティングを実施
- ✓ IT事業者と業務提携し、コンサルティングおよびアプリケーションの導入を支援

地域のデジタル化支援

- ✓ 地域と連携し次世代を担うIT人材育成支援プログラムの参画
- ✓ アプリダウンロード数に応じて茨城県内DX推進に向けた寄付金贈呈 など

生産性向上

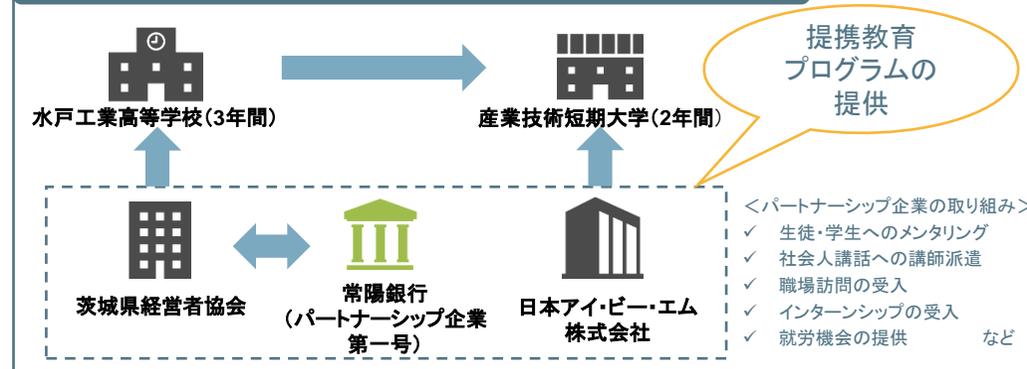
在宅勤務管理



課題
解決

【IT人材育成事業(いばらきP-TECH)への参画(常陽銀行)】

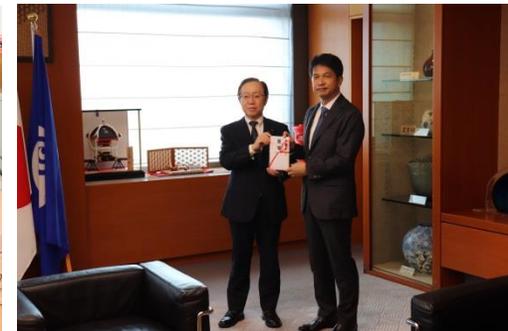
5年間の一貫した連携教育プログラム(P-TECH)を提供



県内産業界で活躍するIT人材の育成・確保



オンラインセミナー(足利銀行)



県内DX推進に向けた寄付金贈呈
(常陽銀行)

第2次グループ中期経営計画

地域とともに成長するビジネスモデルの構築

～コンサルティング機能の強化～



資産形成・ローン

- 資産形成支援
 - ✓ 投資一任運用サービス「めぶきファンドラップ」の取り扱い開始
- 金融商品を通じたSDGs貢献支援
 - ✓ 茨城県・栃木県のSDGs関連事業へ寄附するESGファンドの取り扱い開始
 - ✓ 脱炭素関連株式ファンドの取り扱い開始
- 無担保ローンにおけるWEB完結サービス
 - ✓ WEB完結商品の拡充(マイカーローン、教育ローンなど)

資産形成

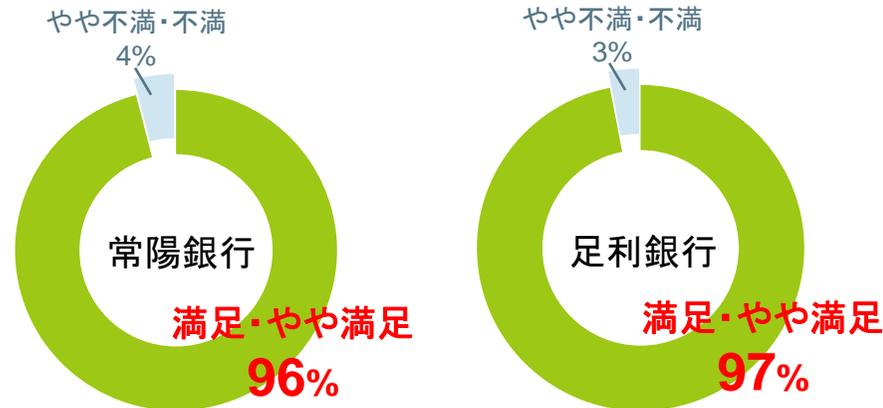
SDGsへの対応

ローン



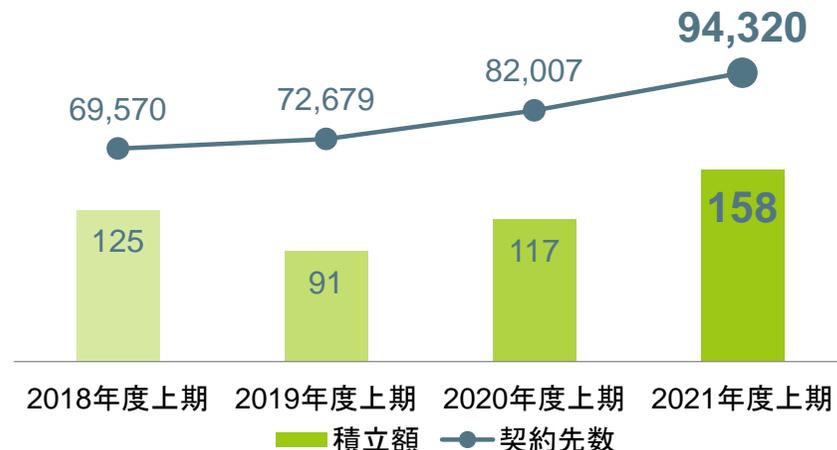
課題解決

【お客さま本位の業務運営に対する評価※】



※ お客さま本位の業務運営に関する取組状況-お客さまアンケート2020年度下期実績より作成。

【積立投信の積立額・契約者数(億円・人)】



第2次グループ中期経営計画

地域とともに成長するビジネスモデルの構築

～コンサルティング機能の強化～



高齢社会への対応

● 資産承継

- ✓ 遺言信託や遺言代用信託、保険を活用したサービス
- ✓ 資産承継に係るプランニングサービス(総合的な財産分析、相続税・贈与税の試算など)

● 資産管理

- ✓ 代理人取引、身元保証・任意後見サービス
- ✓ リバースモーゲージ型住宅ローン、不動産管理
不動産リースバック など

● 生活の質(QOL)の維持向上

- ✓ 高齢者専門担当者(スマイルフルパートナー)の配置
- ✓ 警備会社等と連携した高齢者見守りサービス など

【ジェロントロジー関連サービスの拡充】

● 資産管理

- ✓ 後見制度支援
- ✓ 家族信託
- ✓ 資産承継プランニング
- ✓ 不動産リースバック
- ✓ 個人年金保険

● 資産承継

- ✓ 遺言信託
- ✓ 遺言代用信託
- ✓ 生命保険(宛名機能)
- ✓ 生命保険(生前贈与)

● 生活サポート

- ✓ 見守りサービス
- ✓ 家事代行



サービス介助士資格取得研修

相続対策・高齢社会への備え

「住まい」に関する問題

介護、健康不安

課題
解決

第2次グループ中期経営計画

地域とともに成長するビジネスモデルの構築

～コンサルティング機能の強化～

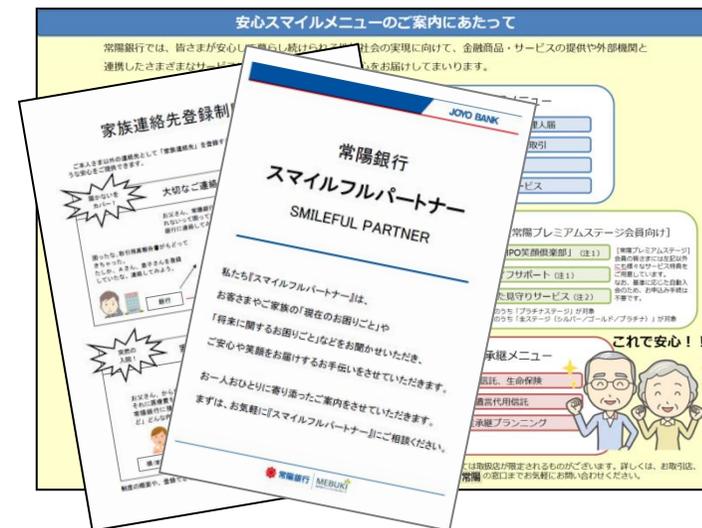
お客様の資産形成と運用、次世代へのスムーズな資産承継をお手伝いするため、相談窓口を設置し、専門スタッフによるご相談を実施。

休日ウェルスサロン(足利銀行)

- 生前の相続に対する備えから、相続発生後のサポートまで丁寧に対応
- ✓ 土日限定の相続相談窓口
- ✓ 完全予約制・専用相談ブース(個室)で安心
- ✓ ご家族で都合を合わせた相談予約が可能
- ✓ 専門スタッフがわかりやすく丁寧にサポート

スマイルフルパートナー(常陽銀行)

- 高齢のお客様やご家族のお困りごとに、高齢者専門担当者が対応
- ✓ 金融犯罪防止対応の啓発
- ✓ 現在の困りごと、将来の困りごとへの対応
- ✓ 認知機能低下への対応
- ✓ 次世代への円滑な資産承継への対応

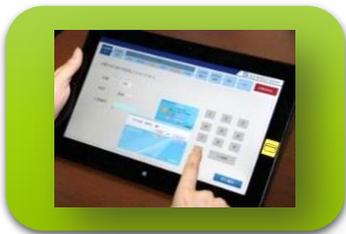


第2次グループ中期経営計画

地域とともに成長するビジネスモデルの構築

～ITサービス／データの利活用～

お客さまの利便性向上や当社グループの生産性向上、営業活動の高度化に向けて、デジタル化に対応した新しいサービスを積極的に導入。



お客さまが待たない、
記入しない銀行
店頭受付ナビゲーションの導入
(2017～)



無担保ローンの
WEB完結サービス
申込みから契約までWEBで完結
(2018～)



WEB経営支援サービスの拡充
ビッグアドバンス等の法人向け
経営支援サービスの導入
(2020～)



店頭でお待ちいただくことなく
スムーズな手続き
ご来店予約サービスの導入
(2021～)



手のひらで取引できる
銀行アプリ
通帳アプリや口座開設アプリなど導入
(2017～)



業務用スマホ・タブレット
による事務効率化
受取書アプリ
預かり物件管理システムの導入
(2019～)



いつでもどこでも
手のひらパートナー
新バンキングアプリの導入
(2021～)



インターネットに特化した
金融商品仲介専門会社
あしぎんマネーデザインの
業務開始
(2021～)

第2次グループ中期経営計画

地域とともに成長するビジネスモデルの構築

～ITサービス／データの利活用～

バンキングアプリ



常陽バンキングアプリ



足利銀行アプリ

【主なサービスメニュー】

普通預金残高・入出金明細の照会・入出金グラフ表示

定期預金・積立式定期預金・外貨預金
(口座開設・預入・払戻)

24時間365日振込

ローン残高照会

各種支払(公共料金口座振替申込・ペイジー)

JOYO CARD Debit機能 など

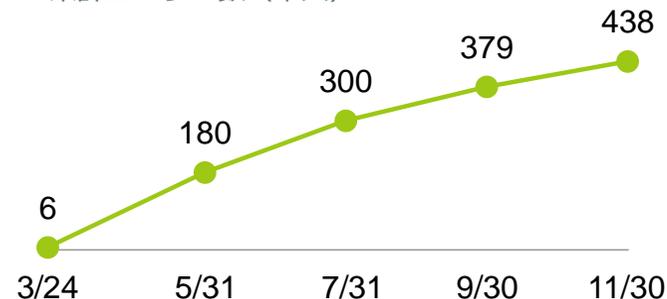
+

順次機能追加

【アプリユーザー数(銀行合算)】

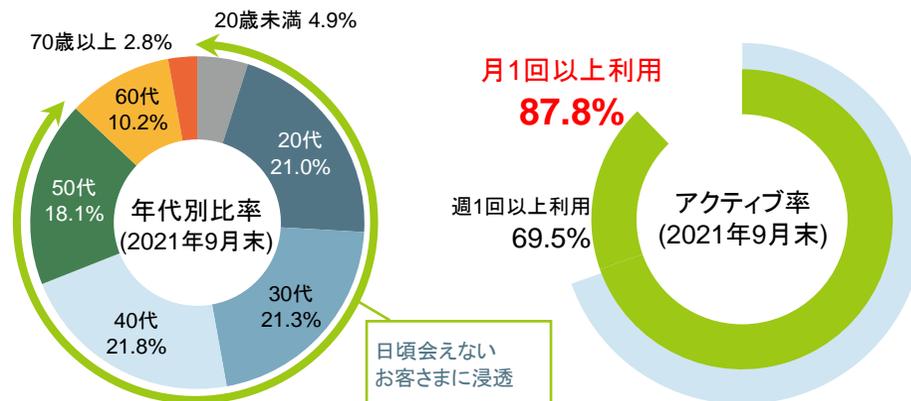
- 「常陽バンキングアプリ」と「足利銀行アプリ」は43万ユーザーを突破。

— 累計ユーザー数(千人)



【年代別割合・アクティブ率】

- 日頃会えない世代にも着実に浸透し、顧客接点を確保。
- 使いやすい操作性から9割近いお客さまが月1回以上利用。



第2次グループ中期経営計画

地域とともに成長するビジネスモデルの構築

～ITサービス／データの利活用～

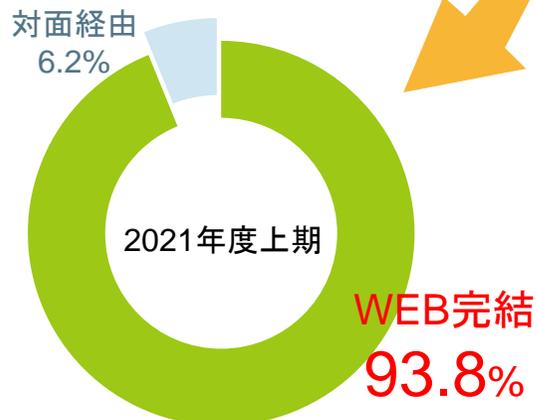
非対面サービスの拡充

【WEB申し込み完結商品の拡充】

- Cash Card カードローン
- フリーローン
- 医療保険

- マイカーローン
- 教育ローン

【マイカー・教育ローンのWEB契約率】



WEB契約件数 7,804件／8,314件

IT利活用による業務効率化

● 住宅ローン電子契約の導入(2021年度予定)

✓ 電子契約導入に伴う効果

<お客さま>

- 紙の契約書への署名・記載等不要
- 紙の契約書への押印不要
- 契約内容をWEBで確認可能

<銀行>

- 印鑑相違等の抑制
- 現物授受・処理にかかる事務負担軽減
- 契約書の点検効率化・現物保管不要



印鑑



紙

※ 事業性融資も電子契約を導入します。

第2次グループ中期経営計画

生産性向上に向けた構造改革

～チャンネル・ネットワークの最適化～

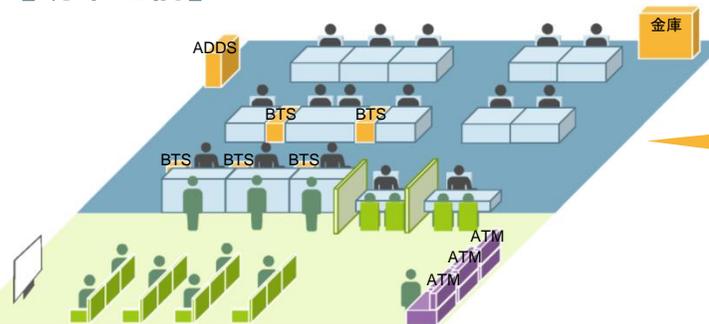
店舗ネットワークは、計画を上回る規模とスピードで見直し・効率化を実施。

(中期経営計画：国内店舗の2割程度 → 現時点の見通し：62%以上の拠点を効率化)

デジタル技術を活用しサービスの拡充を図るとともに、支店窓口で高度なコンサルティングを提供。

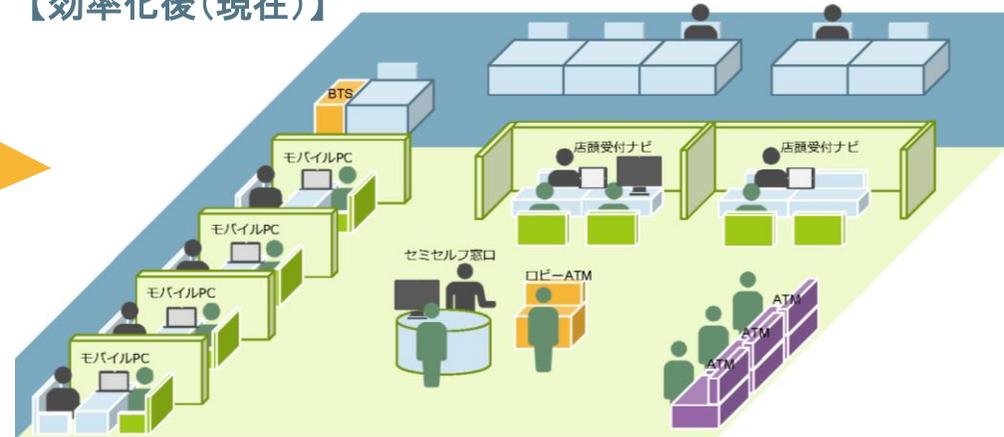
効率化した店舗のレイアウト事例

【効率化前】



BTS : Banking Teller Station(窓口端末)
ADDS: オープン出納システム

【効率化後(現在)】



効率化後の
店舗内イメージ



店頭受付ナビゲーション

● キャッシュレス化、モバイルPC・タブレットの活用の効果

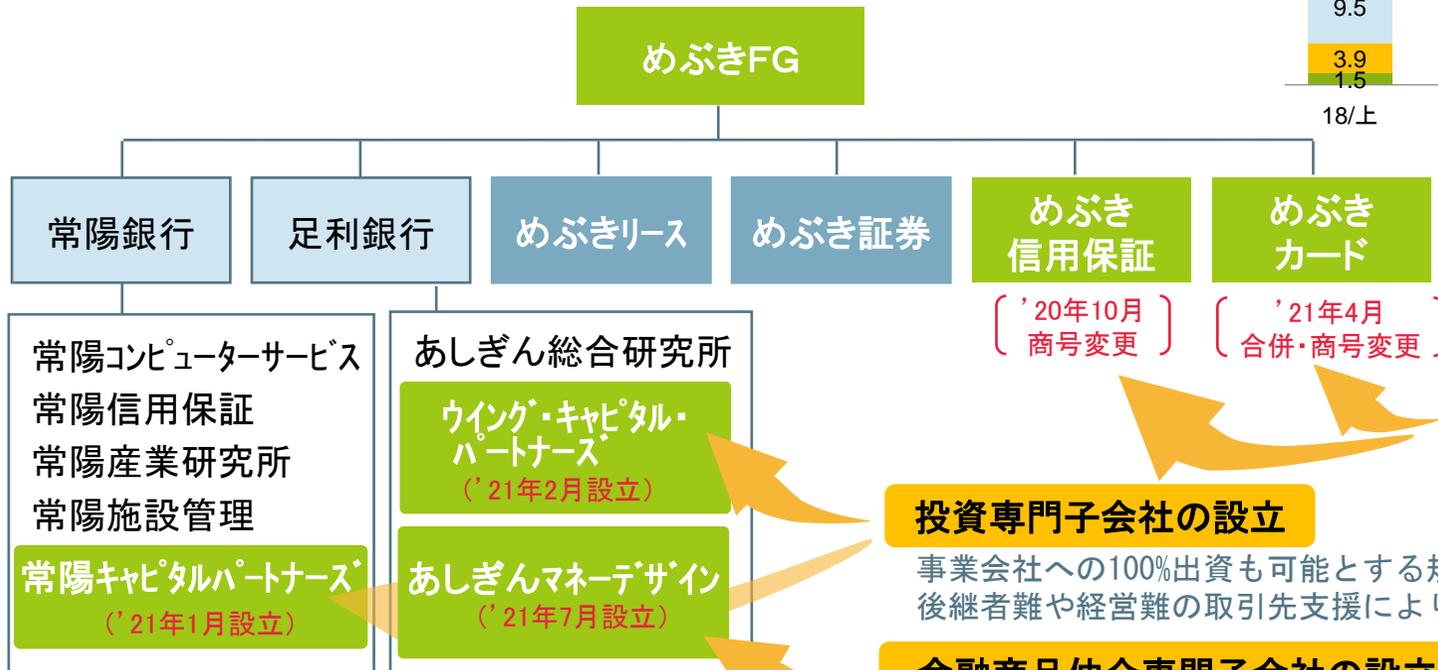
- ✓ オープン出納システム(ADDS)撤去、窓口端末(BTS)大幅削減(事務スペースの削減、支店運営の少人数化)
- ✓ 現金保管用金庫無し(管理事務負担軽減、ATMの現金管理は外部委託)
- ✓ 紙記入の減少(お客さま負担軽減、ペーパーレス、事務負担軽減)
- ✓ 相談スペースの拡大

第2次グループ中期経営計画

生産性向上に向けた構造改革 ～グループ内子会社の再編と新設～

グループ内子会社の再編や事業領域の拡大を目的とした新会社の設立など、グループ経営資源の最適化を図ることで、より質の高い総合金融サービスを提供。

グループ会社の状況('21年9月現在)



投資専門子会社の設立

事業会社への100%出資も可能とする規制緩和を活用し、後継者難や経営難の取引先支援により深く関与する。

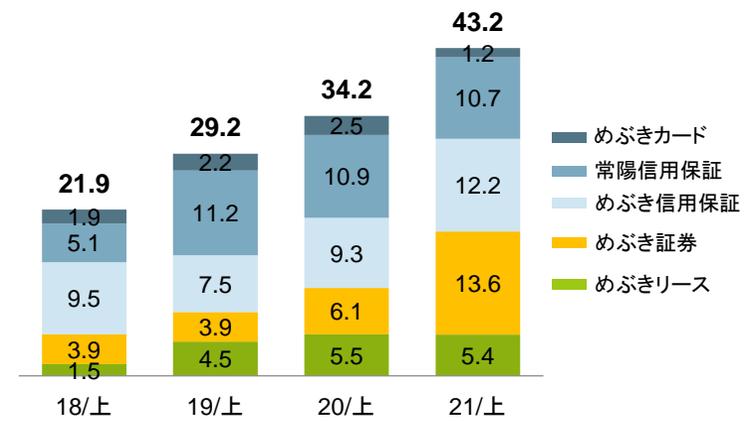
金融商品仲介専門子会社の設立

さまざまな世代のお客さまに、より身近に金融商品取引をご利用いただくため資産運用や保険取引をすべてオンラインで行う。

重複する子会社を再編

捻出した経営資源をコンサルティングやデジタルなどの成長分野に投入。

【グループ会社の営業利益の推移(億円)】



第2次グループ中期経営計画

価値創造を担う人材の育成 ～専門人材の育成～

IT技術を活用できる人材の育成



外部講師による勉強会の実施
(IT関連知識の習得や情報の利活用)



IT・デジタルに関する行内資格を新設
⇒ 実践的な研修等により高度なコンサルティング
ノウハウを習得できる体制整備



「ITパスポート」(国家試験)資格や「ITコーディネーター」
資格取得への挑戦を積極的に推奨。

専門知識の習得・資格取得

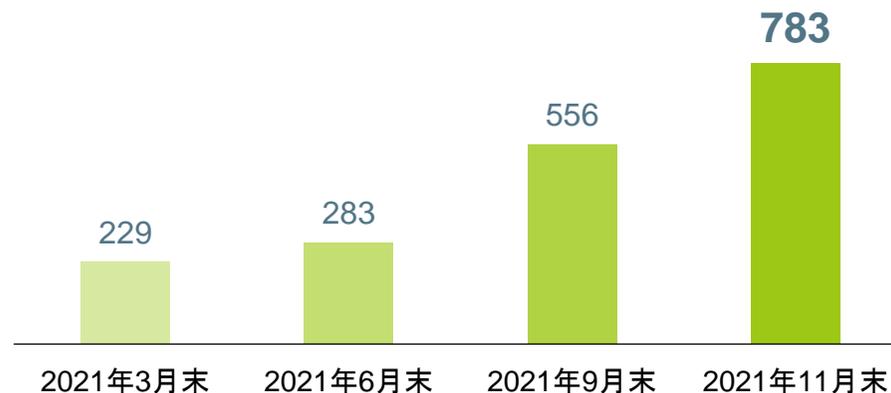


ファイナンシャルプランナー、中小企業診断士や
証券アナリスト等の各種資格取得に向けた支援。

当社グループのITサービスやデータの利活用

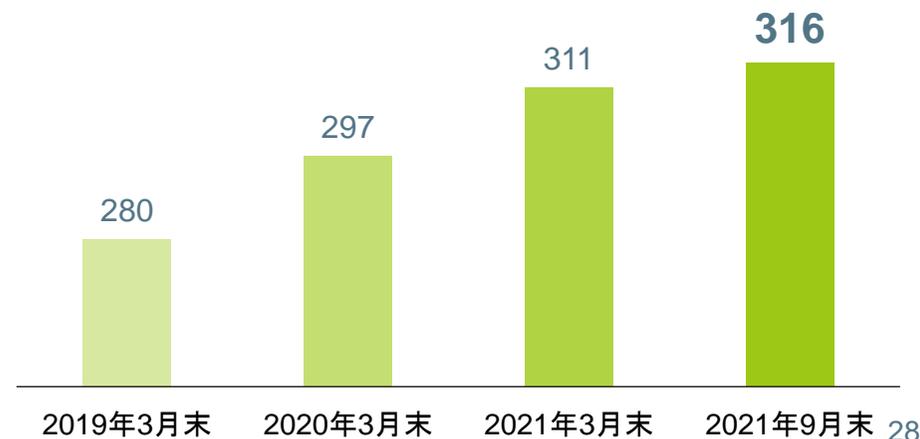
グループ内で実用化したツールや
ノウハウをお客さまへ提供

【「ITパスポート」資格取得者数(累計・名)】



【ファイナンシャルプランナー1級取得者数(累計・名)】

※常陽銀行、足利銀行、めぶき証券合算



第2次グループ中期経営計画

価値創造を担う人材の育成 ～ダイバーシティ推進～

働きやすい環境づくり



フレックスタイム
制勤務



時間単位休暇



短時間勤務制度
(介護・育児)



育児休職者のための
職場復帰セミナー

女性の活躍推進



意欲と能力のある女性を係長以上の
役職に積極的に登用。



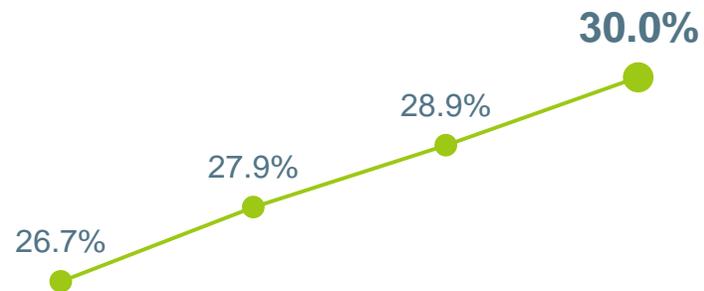
女性リーダーを育成するため、
「めぶき女性塾」を開催。

「ダイバーシティ推進室」の設置(2021年10月)

✓ これまで以上にスピード感を持って、戦略的に取り組む。

誰もが幸せにいきいきと働ける環境

【係長以上に占める女性の割合(%)】 ※銀行合算



2018年3月末 2019年3月末 2020年3月末 2021年3月末

【外部からの評価】



(常陽銀行・足利銀行)



(常陽銀行)



(常陽銀行・足利銀行)

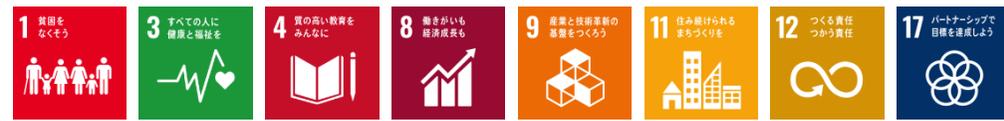
① めぶきFGについて

② 第2次グループ中計

③ SDGs

④ 業績・株主還元

⑤ 資料編



2021年度 SDGs取組方針

1

金融・コンサルティング機能を通して地域経済の好循環につなげ、
地域経済の活性化に貢献する。

- 当社グループの事業を通じた主な取り組み
- ✓ 新事業の発掘・創出
- ✓ 地域企業の経営課題発掘・解決支援
- ✓ 地域経済の活性化に向けた取り組み(各種商談会)
- ✓ 地域企業の成長・生産性向上支援
- ✓ ジェロントロジーの知見を活かした取り組み(資産管理・資産承継等)
- ✓ 寄贈サービス付私募債を通じた地域貢献



寄贈された玩具で遊ぶこどもたち



ビジネスマッチング件数

2,041 件

(2016年10月(経営統合)以降累計)



事業承継・M&A相談件数

3,929 件

(2020年度)



寄贈サービス付私募債発行状況

813 件 発行額 **687** 億円

寄贈額 約1億3,800万円

(2016年度取扱開始以降累計)



2

2021年度 SDGs取組方針

TCFDへの賛同を踏まえ、気候変動・環境保全の取り組みを進展させる。

- 気候変動・環境保全への取り組み
 - ✓ 再生可能エネルギー事業推進への取り組み
 - ✓ 温室効果ガス削減への取り組み
 - ✓ 環境保全団体等への助成・寄附
 - ✓ 環境保全活動(植樹活動、Web通帳推進等による紙資源の節減等)



再生可能エネルギー投資残高

2,081 億円

(2021年3月末)



CO₂排出量削減比率

25.0 %

(2013年度比)



3

2021年度 SDGs取組方針 ダイバーシティへの取り組みを進展させる。

- ダイバーシティへの取り組み
- ✓ ダイバーシティ推進室の設置
- ✓ 女性の活躍推進
- ✓ 働きやすい環境づくり



めぶき女性塾



① めぶきFGについて

② 第2次グループ中計

③ SDGs

④ 業績・株主還元

⑤ 資料編

業績・株主還元



2021年度中間期 業績ハイライト

	2021年度中間期実績	前年同期比	通期業績予想に対する進捗率
FG連結純利益 ^(*1)	247億円	+30億円	65.0%
コア業務純益(銀行合算) ^(*2)	406億円	+68億円	-
経費(銀行合算)	545億円	△12億円	-
信用コスト(銀行合算)	83億円	△5億円	41.8%

- めぶきFG連結純利益^(*1)は247億円(前年同期比+30億円)。
- 本業の収益力を示すコア業務純益^(*2)は前年同期比68億円の増益。有価証券利鞘の改善や、コンサルティング機能強化による役務取引等利益の増加、経費削減等により増益となった。
- 経費は、店舗ネットワークの見直し・最適化の前倒し等、構造改革の進展により前年同期比12億円削減。
- 信用コストは、引き続きコロナ禍の影響を慎重に捉え、更なる予防的引当を実施。

(*1)親会社株主に帰属する中間純利益 (*2)投信解約損益を除く

2021年度業績見通し

	通期業績予想
FG連結純利益 ^(*3)	380億円

- 通期業績予想に対する進捗率は、第2四半期時点で65%の水準にあるが、依然として先行きは不透明な状況にあるとみており、通期業績見通しは当初公表値(5月12日公表)から変更なし。
- 状況等に変化が生じ、業績予想の修正等が必要となった場合には速やかに開示する。

(*3)親会社株主に帰属する中間純利益

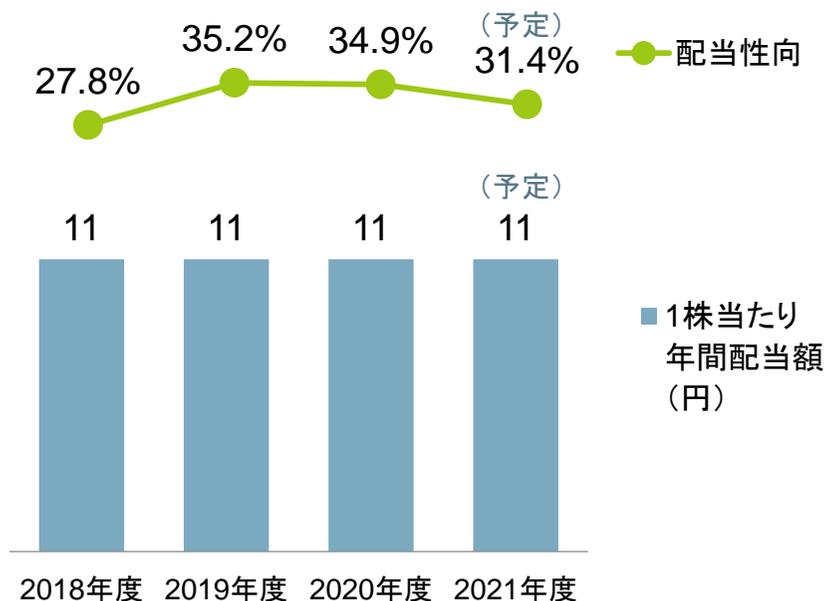
配当・還元方針

● 配当・株主還元方針

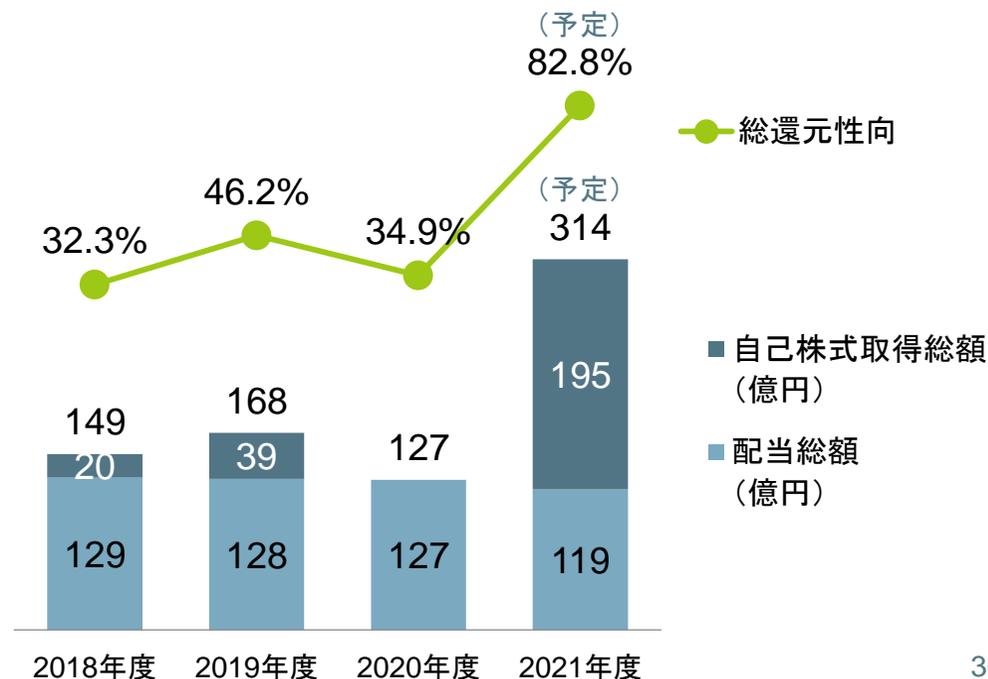
- ✓ グループとしての成長に向けた資本の確保と株主の皆さまへの適切な利益還元のバランスを考慮し、総還元性向(*1)30%以上を目安といたします。水準等については、引続き検討してまいります。

(*1) 総還元性向 = (配当総額 + 自己株式取得総額) / 親会社に帰属する当期純利益

配当実績



株主還元実績



株主優待

当社は、お客さま・地域の成長に貢献するため株主優待制度で地元を応援します。

対象

毎年3月末日を基準日とし、当社株主名簿に記録された1,000株以上保有の株主さまのうち、継続して1年以上*保有する株主さま。

* 継続して1年以上保有する株主さまとは、毎年の基準日(3月末日)とその前年の3月末日および9月末日の当社株主名簿に、同一株主番号で1,000株以上の保有が連続して記録されている株主さまとなります。

内容

地元特産品等を記載の専用カタログから、保有株式数に応じてお好みの特産品をお選びいただきます。



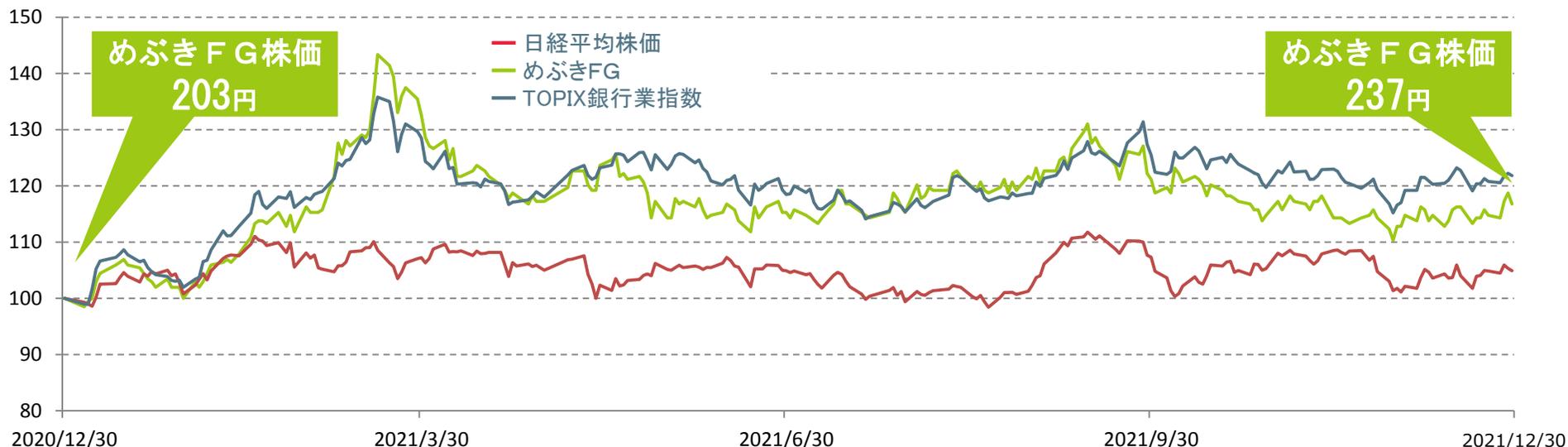
最新の情報はこちら

<優待品例>



めぶきFG株価推移

※2020年12月30日を100として3指数を比較(～2021年12月30日)



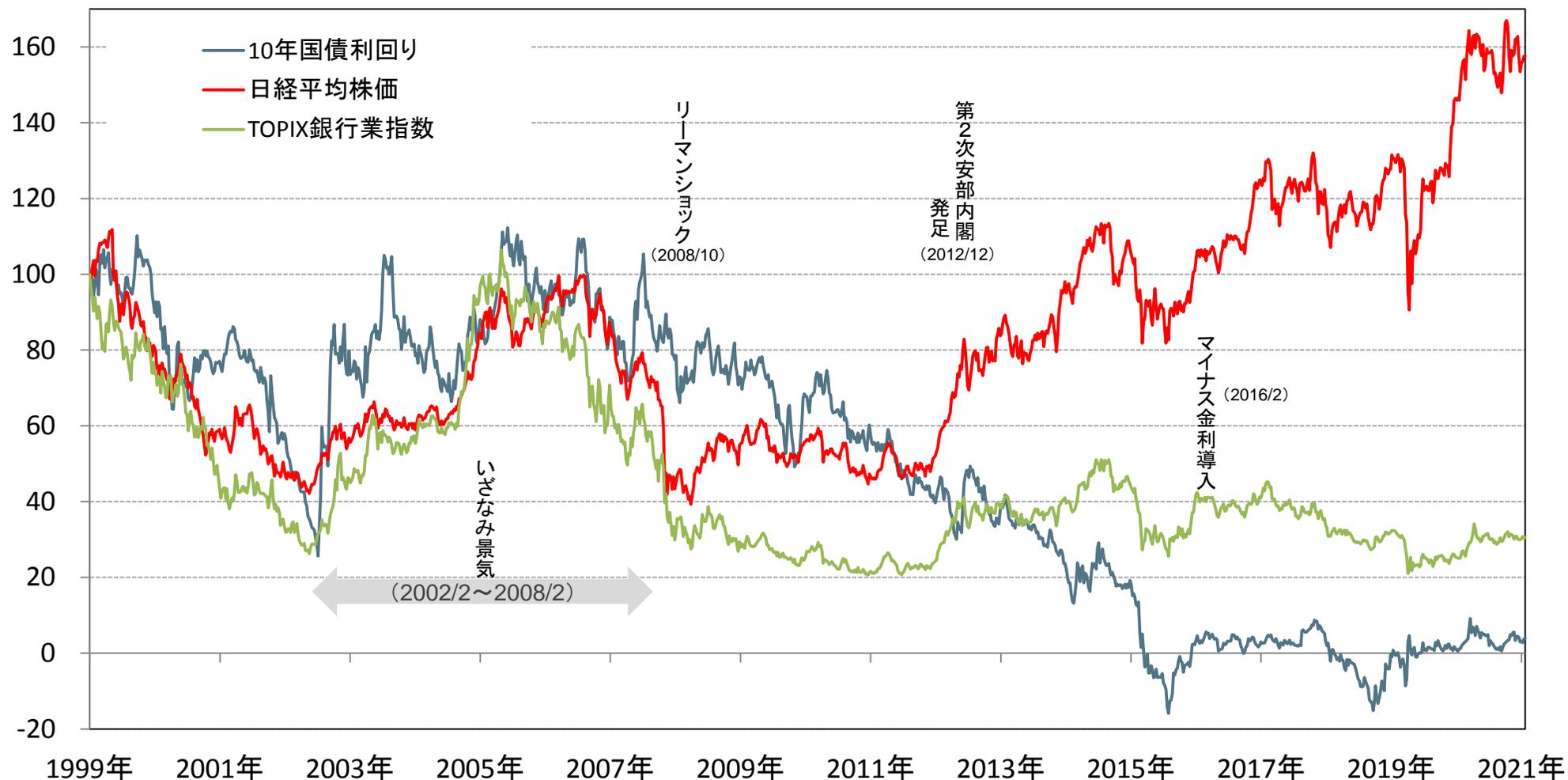
株価指標 (地方銀行・グループの時価総額上位3社、近隣行)

(2021年12月30日終値)

	株価	発行済株式数	時価総額	配当利回り	PBR	PER
千葉銀行	659円	815百万株	5,374億円	3.34%	0.45倍	9.43倍
コンコルディアFG	418円	1,209百万株	5,056億円	4.31%	0.43倍	9.70倍
静岡銀行	822円	595百万株	4,891億円	3.04%	0.41倍	10.34倍
めぶきFG	237円	1,179百万株	2,794億円	4.64%	0.26倍	6.96倍
群馬銀行	352円	435百万株	1,534億円	3.98%	0.26倍	5.69倍
武蔵野銀行	1,799円	33百万株	608億円	5.00%	0.24倍	7.35倍

(参考) 経済指標

10年国債利回り・日経平均株価・TOPIX銀行業指数の推移



※1999年12月10日を100として3指数を比較(～2021年12月30日)

① めぶきFGについて

② 第2次グループ中計

③ SDGs

④ 業績・株主還元

⑤ 資料編

2021年度中間期 決算概要

めぶきFG連結

	(億円)		
	2021年度 中間期	前年同期比	通期業績予想に 対する進捗率
連結粗利益	960	+21	-
資金利益	756	+17	-
(うち預貸金利息差)	(530)	(Δ2)	-
役務取引等利益	207	+16	-
特定取引利益	22	+7	-
その他業務利益	Δ26	Δ20	-
営業経費	559	Δ26	-
与信関係費用(信用コスト)	85	Δ10	-
株式等関係損益	38	Δ8	-
経常利益	366	+50	66.6%
特別損益	Δ16	Δ9	-
親会社株主に帰属する 中間純利益	247	+30	65.0%

【FG連結調整】 Δ15億円

有価証券連単簿価差に伴う調整額など

【銀行単体合算】

	(億円)		
	2021年度 中間期	前年同期比	通期業績予想に 対する進捗率
業務粗利益	923	+18	-
資金利益	770	+18	-
(うち預貸金利息差)	(525)	(Δ2)	-
役務取引等利益	174	+20	-
その他業務利益他	Δ22	Δ20	-
(うち国債等債券損益)	Δ31	Δ21	-
経費	545	Δ12	-
実質業務純益	377	+30	-
コア業務純益	409	+52	-
コア業務純益(除く投信解約損益)	406	+68	-
一般貸倒引当金繰入額(a)	8	+1	-
業務純益	369	+29	-
臨時損益	Δ32	Δ17	-
うち不良債権処理額(b)	75	Δ6	-
うち株式等関係損益	37	Δ31	-
経常利益	337	+12	63.6%
信用コスト(銀行合算) (a) + (b)	83	Δ5	-

【グループ会社 中間純利益】

	(億円)	
	2021年度 中間期	前年同期比
常陽銀行(含む子会社)	154	Δ0
足利銀行(含む子会社)	84	+4
めぶきリース	3	+0
めぶき証券	9	+4
めぶき信用保証	9	+2
めぶきカード	0	Δ1
	262	+11

2021年度業績予想

めぶきFG連結

	(億円)		
	2021年度 通期予想	2021年度 中間期実績	進捗率
経常利益	550	366	66.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	380	247	65.0%

銀行合算

	(億円)		
	2021年度 通期予想	2021年度 中間期実績	進捗率
経常利益	530	337	63.6%
当期純利益	365	227	62.4%
(信用コスト)	200	83	41.8%

銀行単体

	(億円)		
(常陽銀行)	2021年度 通期予想	2021年度 中間期実績	進捗率
経常利益	355	216	61.1%
当期純利益	245	143	58.4%

(足利銀行)

	(億円)		
	2021年度 通期予想	2021年度 中間期実績	進捗率
経常利益	175	120	68.8%
当期純利益	120	84	70.6%

(参考) ホームページのご案内

ホーム

<https://www.mebuki-fg.co.jp/>

株主・投資家の皆さま

<https://www.mebuki-fg.co.jp/shareholder/>



「株主・投資家の皆様へ」
をクリック



業績・財務情報

株主のご案内

IRライブラリー

ESGへの対応

株主優待について

IRカレンダー

IRに関するよくあるご質問

など、随時更新してまいります。



最新の情報はこちら

本件に関するお問合せ先

株式会社 めぶきフィナンシャルグループ 経営企画部

TEL 029-233-1151(代表)

E-mail ir@mebuki-fg.co.jp

URL <https://www.mebuki-fg.co.jp/>



ご注意

本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定の有価証券等の売買を勧誘するものではありません。

本資料に記載された事項の全部または一部は予告なしに修正または変更されることがあります。

本資料には将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営を取巻く環境の変化などにより実際の数値と異なる可能性があります。